

予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：医務費 目：健康増進対策費

事業名 IHEAT養成事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 保健医療課 がん・受動喫煙対策係 電話番号：058-272-1111(内3300)

E-mail：c11223@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 128 千円 (前年度予算額： 300 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	300	150	0	0	0	0	0	0	150
要求額	128	64	0	0	0	0	0	0	64
決定額	128	64	0	0	0	0	0	0	64

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

IHEAT (Infectious disease Health Emergency Assistance Team) とは、感染拡大時に自治体職員だけの対応が困難な場合の支援体制として、厚生労働省の支援システムにあらかじめ登録された潜在保健師等の専門人材を活用する仕組みであり、令和4年12月に地域保健法に法定化された。各都道府県はシステムを活用して感染拡大時等に登録者に協力依頼し保健所等に派遣する。IHEAT登録者が感染拡大時に即座に対応出来るよう、各都道府県は年1回以上、在勤又は在住の登録者に研修を実施する必要がある。

(2) 事業内容

①IHEAT登録者等研修事業

県に在勤、在住の登録者に対し、国が作成する基本的な教育カリキュラムに基づく標準プログラム等により実施する。

②行政支援リーダー研修会への参加

IHEAT研修等の企画・実施者の養成や保健所の組織活動のマネジメント実施者の人材養成を目的とした厚生労働省主催の研修会へ参加する。

(3) 県負担・補助率の考え方

国1/2、県1/2

(4) 類似事業の有無

無し

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	52	研修会講師報償費
旅費	56	研修会講師費用弁償、業務旅費
需用費	10	事務消耗品費
役務費	10	郵送代
合計	128	

決定額の考え方

--

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

感染症予防計画において、IHEAT要員に対する研修の実施と支援体制の整備について位置付けられている。

(2) 国・他県の状況

令和4年12月末時点（公表最新データ）で約5,300人が登録
（うち、岐阜県内在住及び勤務者43人）

(3) 後年度の財政負担

IHEATは、地域保健法に基づくものであり、今後も継続的に実施する必要がある。

(4) 事業主体及びその妥当性

IHEAT支援システムにおける県在勤又は在住の登録者に対し県が研修を実施することは、妥当である。

事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 今後の新型コロナウイルス感染症等の拡大に備え、IHEAT登録者が感染拡大時に保健所等において即座に対応できるよう研修を実施する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

○指標を設定することができない場合の理由

IHEAT登録者に対し研修を継続的に実施するものであり、指標になじまない。

（これまでの取組内容と成果）

令和4年度	<p>IHEAT登録者及び県独自に確保した保健所支援者（大学等教育機関関係者）、県内市町村保健師等希望者を対象に、感染症等に関する基本と最新の科学的根拠に基づいた知識や技術を習得する研修会を開催し、34名が受講した。受講後アンケートに回答した全員（22名）から「理解できた」「ほぼ理解できた」との回答を得た。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和5年度	<p>IHEAT登録者及び県独自に確保した保健所支援者（大学等教育機関関係者）、県内市町村保健師等希望者を対象に、感染症等に関する基本と最新の科学的根拠に基づいた知識や技術を習得する研修会を開催し、37名が受講した。受講後アンケートに回答した全員（31名）から「理解できた」「ほぼ理解できた」との回答を得た。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和6年度	<p>IHEAT登録者及び県独自に確保した保健所支援者（大学等教育機関関係者）、県内市町村保健師等希望者を対象に、感染症等に関する基本と最新の科学的根拠に基づいた知識や技術を習得する研修会を開催し、6名が受講した。受講後アンケートに回答した全員（6名）から「理解できた」「ほぼ理解できた」との回答を得た。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・ 事業の必要性 (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) <small>3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない</small></p>	
(評価) 3	<p>感染拡大時に自治体職員だけでの対応が困難な場合の支援体制として、あらかじめ登録した専門人材に協力依頼するための登録システムであり、新型コロナウイルス感染症のみならず、新興感染症の感染拡大時に備え、人材の確保と研修の充実が必要である。</p>
<p>・ 事業の有効性 (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) <small>3 : 期待以上の成果あり 2 : 期待どおりの成果あり 1 : 期待どおりの成果が得られていない 0 : ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 2	<p>IHEAT登録者及び県独自に確保した支援者に学習の機会を提供し、新型コロナウイルス感染症のみならず、その他感染症の感染拡大時の対応に必要な知識の向上を図った。</p>
<p>・ 事業の効率性 (事業の実施方法の効率化は図られているか) <small>2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている</small></p>	
(評価) 2	<p>国が提供するWebによる事前学習と、岐阜県独自の現状と対策に関する研修を提供することで、基礎知識と最新情報を併せた学習を効果的に実施できた。</p>

(今後の課題)

<p>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項 IHEAT登録者が日々変化する感染症に即座にかつ的確に対応出来る様、最新の情報と対応方法について学習する場が必要である。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 今後の新型コロナウイルス感染症の拡大等に備え、IHEAT登録者が即座に対応できるよう研修を継続的に実施する必要がある。</p>
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	【○○課】
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	